

高知県感染症発生動向調査（週報）

2014年 第27週（6月30日～7月6日）

★お知らせ

○ヘルパンギーナに注意して！

定点医療機関からの報告数は前週の1.70から1.77と横ばいですが、須崎、中央西福祉保健所、高知市保健所管内では注意報値を超えています。いわゆる夏かぜの代表的疾患で、突然の高熱とノドの痛みを特徴とします。倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもあります。こまめな水分補給を心がけてください。回復後も1ヶ月間にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。外出後、食事の前、トイレの後に手洗いを行いましょう。

○咽頭結膜熱に注意して！

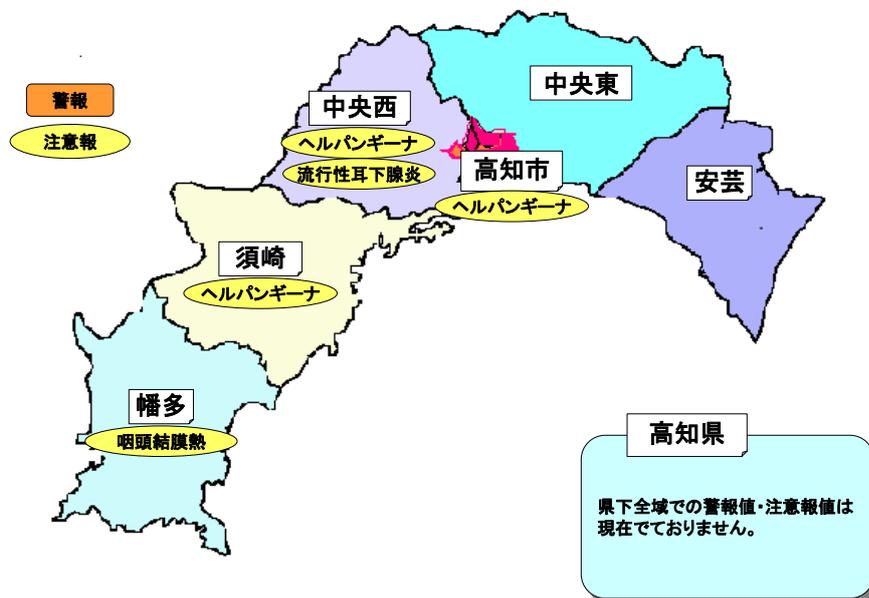
定点医療機関からの報告数は前週の0.20から0.47と2倍以上増加し、幡多福祉保健所管内では注意報値を超えています。アデノウイルスによる感染症で、39度前後の発熱、咽頭炎、結膜炎が主な症状です。感染力は強く、症状消失後も約1カ月間にわたって尿・便中にウイルスが排出されることがあるので、プールや温泉施設を利用する際は前後のシャワーを必ず浴び、タオルは個別にしましょう。また、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いを行いましょう。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		2.47	須崎で増加しています。
ヘルパンギーナ		1.77	須崎、中央西で増加し、須崎、高知市、中央西では注意報値を超えています。流行のシーズンなので注意してください。
水痘		1.07	幡多、中央東で増加しています。
流行性耳下腺炎		0.93	中央西で増加し、中央西では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.67	幡多で増加していますが、全体では減少しています。

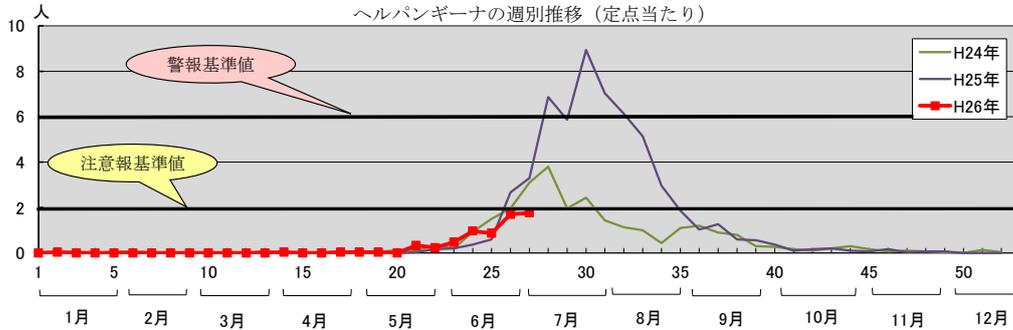
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

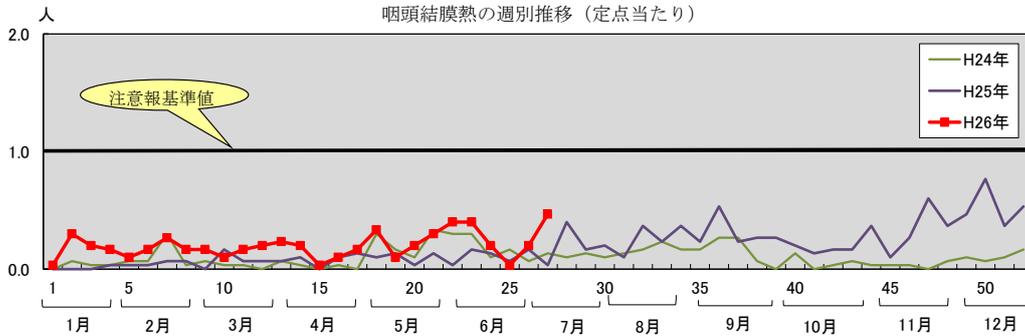
○ヘルパンギーナ：1.77（注意報値：2.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.77（前週：1.70）と横ばいです。地域別にみると、須崎（4.50：前週 1.00）中央西（2.00：前週 1.33）で増加し、須崎、高知市（2.55：前週 2.73）中央西では注意報値を超えています。年齢別にみると全ての患者が0～5歳になっています。病原体定点の検体からは Coxsackievirus A4 が 4 例、Coxsackievirus A5 が 4 例、Coxsackievirus B2 が 1 例検出されています。



○咽頭結膜熱：0.47（注意報値：1.00 警報値：3.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.47（前週：0.20）と急増しています。地域別にみると、幡多（1.80：前週 0.60）須崎（0.50：前週 0.00）高知市（0.18：前週 0.09）で増加し、幡多では注意報値を超えています。



★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
4 類	日本紅斑熱	1	3	70 歳代 (女)	安芸

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
27	ヘルパンギーナ	1	女	須崎	Coxsackievirus A4
27	ヘルパンギーナ	2	女	須崎	Coxsackievirus A4
27	ヘルパンギーナ	1	男	須崎	Coxsackievirus A4
27	ヘルパンギーナ	1	女	高知市	Coxsackievirus A5
27	感染性胃腸炎	8ヶ月	男	高知市	Norovirus GII NT Coxsackievirus B2
27	感染性胃腸炎	3	女	須崎	Coxsackievirus B2
27	感染性胃腸炎	5	女	幡多	Coxsackievirus B2
27	流行性角結膜炎、上気道炎	11	男	幡多	Coxsackievirus B2

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
26	ヘルパンギーナ	1	男	高知市	Coxsackievirus A4
26	ヘルパンギーナ	1	男	中央東	Coxsackievirus A5
26	ヘルパンギーナ	3	女	須崎	Coxsackievirus A5
26	ヘルパンギーナ	1	女	須崎	Coxsackievirus A5
26	感染性胃腸炎	2	女	高知市	Coxsackievirus B2
26	ヘルパンギーナ	1	男	須崎	Coxsackievirus B2
26	感染性胃腸炎	14	女	須崎	Rotavirus group A G3

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	野市中央病院小児科	帯状疱疹 1 例 (12 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 4 例 (1、9 歳 2 人男、8 歳女：咽頭迅速診断陽性)
		帯状疱疹 1 例 (10 歳女) ノロウイルス胃腸炎 1 例 (3 歳男) カンピロバクター腸炎 1 例 (10 歳男) アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳男)
	高知医療センター小児科	アデノウイルス 1 例 (3 歳女)
	国立病院機構高知病院小児科	ロタウイルス胃腸炎 1 例 (7 ヶ月男)
中央西	福井小児科・内科・循環器科	流行性耳下腺炎に髄膜炎合併 1 例 (9 歳男)
	くぼたこどもクリニック	流行性耳下腺炎 2 例 (2 歳男：須崎市、6 歳女：いの町) ヘルパンギーナ 1 例 (2 歳女：南国市)
	日高クリニック	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 1 例
須崎	石黒小児科	顔面帯状疱疹 1 例 (56 歳女)
	もりはた小児科	帯状疱疹 1 例 (12 歳女) カンピロバクター腸炎 1 例 (9 歳男) 26w カンピロバクター腸炎 2 例 (2、7 歳女)
幡多	さたけ小児科	膿痂疹 1 例 (4 歳男) アデノウイルス 2 例 (2、3 歳男)

★全国情報

第25週 (6/16～6/22)

- 1類感染症：報告なし
 - 2類感染症：結核405例
 - 3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症119例、腸チフス1例、パラチフス1例
 - 4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎3例、重症熱性血小板減少症候群4例、つつが虫病5例、デング熱7例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症29例、レプトスピラ症1例
 - 5類感染症：アメーバ赤痢17例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群19例、梅毒20例、破傷風3例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、侵襲性肺炎球菌感染症9例、風しん3例、麻しん14例
- 報告遅れ：E型肝炎1例、日本紅斑熱2例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例
デング熱1例

★最近のレジオネラ症の発生動向 2014年第25週

レジオネラ症は細胞内寄生性のグラム陰性桿菌であるレジオネラ属菌 (*Legionella* spp.) による感染症で、菌は肺胞マクロファージに侵入し増殖する。レジオネラ属菌を含むエアロゾルや塵埃を吸入することにより発症する。人から人への感染は無い。病型は一過性のポンティアック型と劇症の肺炎型があるが、レジオネラ肺炎に特有な症状はないため、症状のみでは他の肺炎との鑑別は困難である。高齢者や新生児、および免疫不全を伴う者が本症の高リスクグループであり、感染症発生動向調査では死亡者も毎年報告されている。近年、本症の届出は増加傾向にあり、また例年主に7月にピークがみられることから、注目すべき感染症として直近の発生動向の概要を提供する。

レジオネラ症は感染症法に基づく感染症発生動向調査において医師に全数届出が義務付けられている。2010年以降、毎年報告数が増加しており、2013年には、過去最多の1,111例が報告された。2014年は第1～25週に464例が報告されており、前年同期報告数の328例を上回った。また、近年の年間発生動向として、主に7月 (第27～31週) にピークを迎えており、本年も5月後半 (第20～21週) から増加傾向である。本年第25週までの地域分布、年齢・性別、致命率、職業等に関しては近年の傾向と同様であった。感染地域では、主として国内であり [451例 (97%)]、症例が多く発生した都道府県は人口の多い東京都 (45例)、神奈川県 (43例)、大阪府 (29例) が上位3位であり、罹患率は富山県と石川県が高い傾向を示した。診断法も以前と変化は無く、殆どの症例は尿中抗原検出 [426例 (92%)] で診断されていた。

患者の年齢中央値は73歳 (範囲：31～103歳) であった。近年の発生動向と同様に男性がその大半 [346例 (75%)] を占め、性別によって年齢分布が大きく異なる傾向を示した。患者発生動向調査上の届出時点での報告という制約がある中での情報として、死亡は13例 [男性12例、女性1例；年齢中央値80歳 (範囲：43～94歳)；致命率3%] で、これまでと同様に疾病負担が高齢の男性に偏っていた。職業は、高齢者が多いため無職が過半数を占めたが [282例 (61%)]、採掘・建設業務従事者、金属材料製造業者および輸送機械組立・修理業者、運転手等も多かった。

高齢化の進む日本社会において、レジオネラ症の重要性は増加すると考えられる。レジオネラ属菌は、もともと土壌や水環境に普通に存在する菌である。しかしながら、エアロゾルを発生させる人工環境 (噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等) や循環水を利用した風呂が屋内外に多くなっ

ていることなどが感染する機会を増やしているものと考えられる。近年、大半の症例は感染源が明らかではない国内単発例のため、レジオネラ症の疫学をより明確に把握し、公衆衛生対策に繋げる必要がある。医療従事者は、特に今の季節に高齢男性の肺炎を診療した場合、入浴施設等の利用歴が無くても、鑑別にレジオネラ感染症の可能性も考慮し対応して頂きたい。

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第27週 平成26年6月30日(月)～平成26年7月6日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(26週)	高知県(27週末累計)		全国(26週末累計)	
												H25/12/30～H26/7/6	H25/12/30～H26/6/30		
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	347 (0.07)	10,739 (223.73)	1,461,208 (296.57)		
小児科	咽頭結核熱			1	2	1	1	9	14 (0.47)	6 (0.20)	2,627 (0.83)	162 (5.40)	39,151 (12.45)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				6	6	2	6	20 (0.67)	25 (0.83)	7,436 (2.36)	527 (17.57)	170,157 (54.10)		
	感染性胃腸炎	11	11	36	5	5	6	6	74 (2.47)	86 (2.87)	15,749 (4.99)	6,804 (226.80)	598,833 (190.41)		
	水痘	1	6	6	4			15	32 (1.07)	37 (1.23)	3,241 (1.03)	968 (32.27)	93,229 (29.64)		
	手足口病		1	2			2	2	7 (0.23)	4 (0.13)	2,088 (0.66)	35 (1.17)	15,381 (4.89)		
	伝染性紅斑								()	()	1,132 (0.36)	21 (0.70)	13,389 (4.26)		
	突発性発疹	2	3	5	2	1			13 (0.43)	8 (0.27)	2,130 (0.67)	334 (11.13)	41,856 (13.31)		
	百日咳								()	()	55 (0.02)	6 (0.20)	951 (0.30)		
	ヘルパンギーナ	1	8	28	6	9	1		53 (1.77)	51 (1.70)	5,479 (1.74)	195 (6.50)	18,126 (5.76)		
	流行性耳下腺炎		1	11	9	1		6	28 (0.93)	26 (0.87)	1,181 (0.37)	1,082 (36.07)	20,784 (6.61)		
RSウイルス感染症							1	1 (0.03)	()	247 (0.08)	297 (9.90)	22,642 (7.20)			
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	8 (0.01)	()	201 (0.29)		
	流行性角結膜炎								()	1 (0.33)	429 (0.63)	21 (7.00)	9,793 (14.34)		
基幹	細菌性髄膜炎							1	1 (0.13)	1 (0.13)	8 (0.02)	8 (1.00)	207 (0.44)		
	無菌性髄膜炎							1	1 (0.13)	1 (0.13)	30 (0.06)	10 (1.25)	409 (0.86)		
	マイコプラズマ肺炎			5					5 (0.63)	8 (1.00)	121 (0.26)	118 (14.75)	2,882 (6.09)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	1 (0.13)	7 (0.01)	8 (1.00)	185 (0.39)		
	感染性胃腸炎			1					1 (0.13)	4 (0.50)	54 (0.11)	132 (16.50)	3,715 (7.85)		
計	15	31	102	33	21	48	250	250	(8.07)	42,369	21,467	2,513,099			
(小児科定点当たり人数)	(7.50)	(4.42)	(8.73)	(11.00)	(10.50)	(9.20)	(8.07)	(8.10)	(8.10)	(571.44)	(571.44)	(571.44)			
前週	18	39	126	45	7	24	255	255	(8.10)						
(小児科定点当たり人数)	(9.00)	(5.43)	(10.08)	(14.99)	(3.50)	(4.80)	(8.10)	(8.10)	(8.10)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第27週							前週	全国(26週)	高知県(27週末累計)		全国(26週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計			H25/12/30～H26/7/6	H25/12/30～H26/6/29		
インフルエンザ	インフルエンザ										0.07	223.73	296.57		
小児科	咽頭結核熱		0.14	0.18	0.33	0.50	1.80	0.47	0.20	0.83	5.40	12.45			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.55	2.00	1.00	1.20	0.67	2.36	17.57	54.10			
	感染性胃腸炎	5.50	1.57	3.27	1.67	2.50	1.20	2.47	2.87	4.99	226.80	190.41			
	水痘	0.50	0.86	0.55	1.33		3.00	1.07	1.23	1.03	32.27	29.64			
	手足口病		0.14	0.18			1.00	0.40	0.23	0.13	0.66	1.17	4.89		
	伝染性紅斑										0.36	0.70	4.26		
	突発性発疹	1.00	0.43	0.45	0.67	0.50		0.43	0.27	0.67	11.13	13.31			
	百日咳										0.02	0.20	0.30		
	ヘルパンギーナ	0.50	1.14	2.55	2.00	4.50	0.20	1.77	1.70	1.74	6.50	5.76			
	流行性耳下腺炎		0.14	1.00	3.00	0.50	1.20	0.93	0.87	0.37	36.07	6.61			
RSウイルス感染症							0.20	0.03		0.08	9.90	7.20			
眼科	急性出血性結膜炎										0.01	0.29			
	流行性角結膜炎								0.33	0.63	7.00	14.34			
基幹	細菌性髄膜炎							1.00	0.13	0.13	1.00	0.44			
	無菌性髄膜炎							1.00	0.13	0.13	1.25	0.86			
	マイコプラズマ肺炎			1.00				0.63	1.00	0.26	14.75	6.09			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								0.13	0.01	1.00	0.39			
	感染性胃腸炎			0.20				0.13	0.50	0.11	16.50	7.85			
計	7.50	4.42	8.73	11.00	10.50	9.20	8.07	8.10	8.10	571.44	571.44				
(小児科定点当たり人数)	(7.50)	(4.42)	(8.73)	(11.00)	(10.50)	(9.20)	(8.07)	(8.10)	(8.10)	(571.44)	(571.44)				
前週	9.00	5.43	10.08	14.99	3.50	4.80	8.10	8.10	8.10						
(小児科定点当たり人数)	(9.00)	(5.43)	(10.08)	(14.99)	(3.50)	(4.80)	(8.10)	(8.10)	(8.10)						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869